2027年3月期 第2四半期(中間期)決算短信〔日本基準〕(連結)

2026年11月11日

上場会社名　リスクモンスター株式会社　　上場取引所　東
コード番号　3768　URL https://www.riskmonster.co.jp
代表者　(役職名) 代表取締役社長　(氏名) 藤本　太一
問合せ先責任者　(役職名) 財務経理部部長　(氏名) 吉田　麻紀　TEL 03-6214-0331

半期報告書提出予定日　2026年11月13日
配当支払開始予定日　―
決算補足説明資料作成の有無　：　有
決算説明会開催の有無　：　無

(百万円未満切捨て)

1. 2027年3月期第2四半期(中間期)の連結業績(2026年4月1日～2026年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年中間期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2027年3月期中間期	1,891	0.1	99	△43.9	104	△43.7	66	△48.2
2026年3月期中間期	1,890	2.1	176	49.1	185	51.1	127	―

(注) 包括利益　2027年3月期中間期　334百万円　(64.4%)　2026年3月期中間期　203百万円　(―%)

	1株当たり中間純利益	潜在株式調整後1株当たり中間純利益
	円 銭	円 銭
2027年3月期中間期	8.87	8.83
2026年3月期中間期	17.00	16.99

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2027年3月期中間期	7,391	6,266	83.3	818.61
2026年3月期	6,981	6,019	84.6	792.07

(参考) 自己資本　2027年3月期中間期　6,153百万円　2026年3月期　5,908百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2026年3月期	―	0.00	―	16.00	16.00
2027年3月期	―	0.00			
2027年3月期(予想)			―	16.50	16.50

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：　無

3. 2027年 3月期の連結業績予想(2026年 4月 1日～2027年 3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	3,950	3.3	270	△25.0	270	△28.8	160	△28.4	21.39

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：　有

連結業績予想の修正については、本日(2026年11月11日)公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

※ 注記事項

(1) 当中間期における連結範囲の重要な変更 ： 有

新規 ― 社 (社名) 、 除外 1 社 (社名) リスモン･マッスル･データ株式会社

(注) 詳細は、添付資料P．13「2．中間連結財務諸表及び主な注記 (3) 中間連結財務諸表に関する注記事項 (当中間連結会計期間における連結範囲の重要な変更)」をご覧ください。

(2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 ： 無

(3) 会計方針の変更･会計上の見積りの変更･修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 ： 無
② ①以外の会計方針の変更 ： 無
③ 会計上の見積りの変更 ： 無
④ 修正再表示 ： 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2027年3月期中間期	7,637,154 株	2026年3月期	7,636,922 株
② 期末自己株式数	2027年3月期中間期	119,900 株	2026年3月期	177,468 株
③ 期中平均株式数 (中間期)	2027年3月期中間期	7,477,969 株	2026年3月期中間期	7,525,129 株

※ 第2四半期 (中間期) 決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P．8「1．経営成績等の概況 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

１．経営成績等の概況 …… 2
（１）当中間期の経営成績の概況 …… 2
（２）当中間期の財政状態の概況 …… 7
（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 …… 8
２．中間連結財務諸表及び主な注記 …… 9
（１）中間連結貸借対照表 …… 9
（２）中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書 …… 11
中間連結損益計算書 …… 11
中間連結包括利益計算書 …… 12
（３）中間連結財務諸表に関する注記事項 …… 13
（当中間連結会計期間における連結範囲の重要な変更） …… 13
（中間連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記） …… 13
（セグメント情報等の注記） …… 13
（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記） …… 14
（継続企業の前提に関する注記） …… 14
３．補足情報 …… 15

１．経営成績等の概況

（１）当中間期の経営成績の概況

当中間連結会計期間における我が国経済は、為替変動や物価高、中東情勢の緊迫化等により、先行きは依然として不透明な状況で推移しており、企業におけるリスク管理及びコンプライアンス対応の重要性が高まる一方、引き続き、お客様のサービス選別は一段と厳しさを増しています。

このような環境の下、当社グループは、企業信用データ及びコンプライアンス情報を活用し、企業間取引におけるリスク管理インフラを提供しております。

長期ビジョン「RismonG-30」と、その達成に向けたマイルストーンである「第９次中期経営計画（2026～2028年度）」の基本方針に沿い、主力の与信管理サービスを軸とした事業強化と、企業におけるリスク管理文化の定着に向けた取り組みを進めてまいりました。

当中間連結会計期間は、次の４つの重点領域において施策を実施しました。

①　サービス拡充・ＤＸ推進

・「反社チェックヒートマップ：アラーム通知」提供開始（４月）
・ビジネス実務与信管理検定「ミニ模擬２級・３級」提供開始（６月）
・新「J-MOTTOホスティングサービス」提供開始（６月）

②　顧客支援

・APIサービスに「反社個人API」を新規追加（６月）

③　株主還元

・前年から普通配当0.5円、創立25周年記念配当0.5円の計1.0円増額し、１株当たり16円の配当を実施（６月）
・自己株式の取得（取得価額総額1.5億円上限）を決議（８月）

④　社会的発信・ブランド価値向上

・リスモン調べの発表
「お子さん／お孫さんに勤めてほしい企業」調査結果（４月）
「中国自動車業界速報2025年」レポート（４月）
「賃金引上げに関するアンケート」調査結果（５月）
「隣の芝生（企業）は青い」調査結果（６月）
「平成から令和の社会経済変化に関する意識」調査結果（７月）
「格付ロジック改定によるＲＭ格付変動の影響」調査結果（７月）
「借金王ランキング」調査結果（８月）
「何歳まで働くと思う？現役世代の老後就労予測」調査結果（８月）
・リスモン業界レポートの発表
「化学工業」（４月）
「石油製品・石炭製品製造業」（５月）
「プラスチック製品製造業」（６月）
「ゴム製品製造業」（７月）
「鉄鋼業」（８月）
「非鉄金属製造業」（９月）

＜連結業績について＞

当中間連結会計期間の業績は、次のとおりであります。

	前中間連結会計期間 （自　2025年４月１日 至　2025年９月30日）	対売上比 (%)	当中間連結会計期間 （自　2026年４月１日 至　2026年９月30日）	対売上比 (%)	前年 同期比 (%)
売上高（千円）	1,890,892	100.0	1,891,888	100.0	100.1
EBITDA（千円）	534,697	28.3	527,214	27.9	98.6
営業利益（千円）	176,881	9.4	99,306	5.2	56.1
経常利益（千円）	185,666	9.8	104,470	5.5	56.3
親会社株主に帰属する中間純利益（千円）	127,897	6.8	66,293	3.5	51.8

（注）EBITDA＝営業利益＋減価償却費＋のれん償却費

	前中間連結会計期間末	当中間連結会計期間末	増減数
会員数合計（注）	14,710	15,151	441

（注）会員数は登録ＩＤベースで算出しております。
なお、上記においては当社グループの各サービスに重複登録している会員が一部おります。

(売上高)

与信管理サービス事業、ビジネスポータルサイト事業（グループウェアサービス等）及びその他サービス事業が堅調に推移したことに伴い、連結の売上高は1,891,888千円（前年同期比100.1%）となりました。

(利益)

売上高は前年同期並みとなりましたが、新サービス開発、サービスシステム増強及び独自データベースの充実に向けた戦略的投資に加え、マーケティングへの先行投資を実施したこと等から、営業利益は99,306千円（前年同期比56.1%）、経常利益は104,470千円（前年同期比56.3%）、親会社株主に帰属する中間純利益は66,293千円（前年同期比51.8%）となりました。

当社は、新サービス開発、サービスシステム及び独自データベースの増強に継続的に投資していることから、EBITDA（営業利益＋減価償却費＋のれん償却費）を、事業の継続的な収益創出力及びキャッシュ創出力を示す参考指標として重視しており、当中間連結会計期間のEBITDAは527,214千円（前年同期比98.6%）となり、前年同期と概ね同水準を維持しております。

(会員数合計)

会員数は15,151会員と増加しました。

＜セグメント別の業績について＞

当社グループは、与信管理サービス事業を中核とし、ビジネスポータルサイト事業（グループウェアサービス等）、教育関連事業（ｅラーニングサービス等）を法人会員向けビジネスとして、また、ＢＰＯサービス事業（デジタルデータ化サービス等）及び海外展開を軸とするその他事業を、その他ビジネスとして展開しております。

セグメント別の売上高につきましては、セグメント間取引消去前の売上高で記載しております。

当社グループのセグメントを、１．法人会員向けビジネスと２．その他ビジネスに分類した場合の業績は、以下のとおりであります。

１．法人会員向けビジネス

法人会員向けビジネスに含まれるセグメントは、ア）与信管理サービス事業、イ）ビジネスポータルサイト事業及び ウ）教育関連事業であります。

法人会員向けビジネスの業績は、次のとおりであります。

	前中間 連結会計期間	当中間 連結会計期間	前年同期比 (%)
法人会員向けビジネス売上高合計（千円）	1,389,013	1,416,566	102.0
法人会員向けビジネス利益合計（千円）	270,162	218,867	81.0

会員数	前中間 連結会計期間末	当中間 連結会計期間末	増減数
法人会員向けビジネス会員数合計	14,185	14,635	450

法人会員向けビジネスの各セグメントの業績は、次のとおりであります。

ア）与信管理サービス事業について

与信管理サービスの業績は、次のとおりであります。

サービス分野別		前中間 連結会計期間	当中間 連結会計期間	前年同期比 (%)
	ＡＳＰ・クラウドサービス（千円）	788,597	780,009	98.9
	コンサルティングサービス（千円）	195,453	226,446	115.9
売上高合計（千円）		984,051	1,006,456	102.3
セグメント利益（千円）		172,786	115,886	67.1

会員数	前中間 連結会計期間末	当中間 連結会計期間末	増減数
与信管理サービス（注）	8,072	8,546	474

（注）サービス相互提携を行う会員を含む

当中間連結会計期間の与信管理サービス事業の売上高の合計は1,006,456千円（前年同期比102.3%）、セグメント利益は115,886千円（前年同期比67.1%）となりました。

会員数は増加し、新規会員の獲得及び新規利用料収入は堅調に推移しました。一方、既存会員については、利用率の改善が進んだものの、利用件数の増減が拮抗し、ＡＳＰ・クラウドサービスの売上高は前年同期を下回りました。反社チェックサービス及び関連するコンサルティングサービスが順調に推移したことから、事業全体では増収となりました。

利益面では、新サービス開発、サービスシステム増強及び独自データベースの充実に伴う減価償却費の増加等により、減益となりました。引き続き、既存会員の利用拡大と中長期的な競争力強化に向けた取り組みを推進してまいります。

イ）ビジネスポータルサイト事業（グループウェアサービス等）について

ビジネスポータルサイト（グループウェアサービス等）の業績は、次のとおりであります。

サービス分野別		前中間 連結会計期間	当中間 連結会計期間	前年同期比 (%)
	ＡＳＰ・クラウドサービス（千円）	294,899	305,681	103.7
	その他（千円）	17,230	15,390	89.3
売上高合計（千円）		312,130	321,071	102.9
セグメント利益（千円）		92,995	102,683	110.4

会員数	前中間 連結会計期間末	当中間 連結会計期間末	増減数
ビジネスポータルサイト （グループウェアサービス等）（注）	3,034 (145,473)	2,962 (145,295)	△72 (△178)

（注）（　）は外数でユーザー数

当中間連結会計期間のビジネスポータルサイト事業（グループウェアサービス等）の売上高の合計は、321,071千円（前年同期比102.9%）、セグメント利益は102,683千円（前年同期比110.4%）となりました。

会員数及びユーザー数は減少したものの、年会費に係る期間按分による売上計上が増加したこと等から増収増益となりました。

ウ）教育関連事業について

教育関連の業績は、次のとおりであります。

サービス分野別	前中間 連結会計期間	当中間 連結会計期間	前年同期比 (%)
教育関連売上高合計（千円）	92,831	89,037	95.9
セグメント利益（千円）	4,380	297	6.8

会員数	前中間 連結会計期間末	当中間 連結会計期間末	増減数
教育関連	3,079	3,127	48

当中間連結会計期間の教育関連事業の売上高は89,037千円（前年同期比95.9%）、セグメント利益は297千円（前年同期比6.8%）となりました。会員数は増加したものの、定額制サービスの利用が減少したことから減収減益となりました。引き続き新サービスの拡充を進めております。

２．その他ビジネス

その他ビジネスに含まれるセグメントは、エ）ＢＰＯサービス事業及び オ）その他サービスであります。

その他ビジネスの業績は、次のとおりであります。なお、中国における与信管理及びグループウェアサービス等の会員数は、516会員となりました。

	前中間 連結会計期間	当中間 連結会計期間	前年同期比 (%)
その他ビジネス売上高合計（千円）	688,962	657,645	95.5
その他ビジネス利益又は損失（△）合計（千円）	17,107	△21,196	―

その他ビジネスの各セグメントの業績は、次のとおりであります。

エ）ＢＰＯサービス事業について

ＢＰＯサービスの業績は、次のとおりであります。

サービス分野別	前中間 連結会計期間	当中間 連結会計期間	前年同期比 (%)
ＢＰＯサービス売上高合計（千円）	508,594	459,839	90.4
セグメント利益又は損失（△）（千円）	11,811	△26,680	―

当中間連結会計期間のＢＰＯサービス事業の売上高は459,839千円（前年同期比90.4%）、セグメント損失は26,680千円（前年同期はセグメント利益11,811千円）となりました。新規の引き合い案件は積み上がっているものの、既存案件の減少等が収益を圧迫しました。引き続き利益率改善施策を推進し、収益性の向上に取り組んでまいります。

オ）その他サービスについて

その他サービスの業績は、次のとおりであります。

サービス分野別	前中間 連結会計期間	当中間 連結会計期間	前年同期比 (%)
その他サービス売上高合計（千円）	180,368	197,805	109.7
セグメント利益（千円）	5,295	5,483	103.6

当中間連結会計期間のその他サービスの売上高は197,805千円（前年同期比109.7%）、セグメント利益は5,483千円（前年同期比103.6%）となりました。

グループの海外展開（中国）を事業とする利墨（上海）商務信息咨詢有限公司（リスクモンスターチャイナ）は、中国における信用調査レポートの受注残の納品が進んだこと等から、増収増益となりました。

（２）当中間期の財政状態の概況

		前連結会計年度	当中間 連結会計期間	増減額
	流動資産（千円）	2,351,162	2,254,155	△97,007
	固定資産（千円）	4,630,544	5,136,887	506,343
資産合計（千円）		6,981,706	7,391,043	409,336
	流動負債（千円）	650,966	692,239	41,273
	固定負債（千円）	311,140	431,990	120,849
負債合計（千円）		962,107	1,124,229	162,122
純資産（千円）		6,019,599	6,266,813	247,214
負債純資産合計（千円）		6,981,706	7,391,043	409,336

当中間連結会計期間末の流動資産は、前連結会計年度末と比べ97,007千円減少し、2,254,155千円となりました。これは主に、未払税金及び配当金の支払い、自己株式の取得等により、現金及び預金が減少したこと等によるものです。

固定資産は前連結会計年度末と比べ506,343千円増加し、5,136,887千円となりました。これは主に、新サービス開発や独自データベースの増強に伴う無形固定資産の増加、投資有価証券の時価評価及びその他固定資産（長期前払費用）の増加等によるものであります。

流動負債は前連結会計年度末と比べ41,273千円増加し692,239千円となりました。これは主に、未払金の増加等によるものであります。固定負債は120,849千円増加し431,990千円となりました。これは主に、その他固定負債（繰延税金負債）の増加等によるものであります。

純資産は、前連結会計年度末と比べ247,214千円増加し、6,266,813千円となりました。また、自己資本比率は83.3％となりました。

（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

最近の業績動向を踏まえ、2026年８月10日に公表いたしました2027年３月期業績予想を修正いたしました。

（単位：百万円）

	売上高	EBITDA（注）	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期（中間）純利益
2027年３月期予想	3,950	1,140	270	270	160
2027年３月期中間期実績	1,891	527	99	104	66
進捗率（%）	47.9	46.2	36.8	38.7	41.4

（注）EBITDA＝営業利益＋減価償却費＋のれん償却費

売上高につきましては、与信管理サービス事業、ビジネスポータルサイト事業（グループウェアサービス等）及びその他サービス事業が堅調に推移しているものの、ＢＰＯサービス事業の既存案件の処理件数の減少が影響し、当初の予想を下回る見込みです。

利益につきましては、新サービス開発、サービスシステム増強及び独自データベースの充実に向けた戦略的投資に伴う減価償却費の増加や、マーケティングへの先行投資等が利益を押し下げております。

また、ＢＰＯサービス事業においては、既存案件の減少等により上期は損失を計上したものの、採算管理の強化や低採算案件の見直し等を進めており、通期では概ね収支均衡となる見込みです。引き続き、収益構造の改善に取り組んでまいります。

以上のことから、利益は前回公表予想を下回る見込みです。

なお、配当につきましては、前回公表値（１株当たり16.50円）より変更はありません。

当社は、株主の皆様への利益還元を重要な経営課題の一つとして位置付け、資本効率を意識した経営を推進し、ＲＯＥ７%、ＤＯＥ３%を目標に、積極的な投資を推進しながらも継続的かつ安定的な配当の実施を目指してまいります。

この業績予想は、現時点で当社が入手可能な情報に基づいて作成したものであり、今後、市場環境の変化や業績の推移等により業績予想の修正を行う必要が生じた場合は、速やかに公表いたします。

２．中間連結財務諸表及び主な注記

（１）中間連結貸借対照表

（単位：千円）

	前連結会計年度 (2026年３月31日)	当中間連結会計期間 (2026年９月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,748,686	1,603,998
売掛金	505,234	515,744
原材料及び貯蔵品	9,125	6,701
その他	91,509	131,933
貸倒引当金	△3,393	△4,223
流動資産合計	2,351,162	2,254,155
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	588,419	588,419
減価償却累計額	△230,434	△239,027
建物及び構築物（純額）	357,985	349,392
工具、器具及び備品	306,720	331,863
減価償却累計額	△247,102	△273,708
工具、器具及び備品（純額）	59,617	58,155
土地	568,352	568,352
リース資産	19,591	22,773
減価償却累計額	△9,959	△12,130
リース資産（純額）	9,631	10,642
有形固定資産合計	995,587	986,542
無形固定資産		
のれん	52,942	56,227
ソフトウエア	1,210,429	1,255,484
コンテンツ資産	887,988	909,145
その他	77,306	84,670
無形固定資産合計	2,228,667	2,305,528
投資その他の資産		
投資有価証券	1,209,506	1,590,243
その他	199,908	257,482
貸倒引当金	△3,125	△2,909
投資その他の資産合計	1,406,289	1,844,816
固定資産合計	4,630,544	5,136,887
資産合計	6,981,706	7,391,043

（単位：千円）

	前連結会計年度 (2026年３月31日)	当中間連結会計期間 (2026年９月30日)
負債の部		
流動負債		
未払金	211,364	247,198
短期借入金	233,400	233,400
未払法人税等	53,483	46,132
賞与引当金	3,326	3,199
その他	149,392	162,308
流動負債合計	650,966	692,239
固定負債		
退職給付に係る負債	25,189	22,392
その他の引当金	15,768	14,873
その他	270,183	394,724
固定負債合計	311,140	431,990
負債合計	962,107	1,124,229
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,188,168	1,223,168
資本剰余金	805,243	784,908
利益剰余金	3,308,051	3,240,583
自己株式	△98,855	△66,903
株主資本合計	5,202,608	5,181,757
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	677,581	943,182
為替換算調整勘定	28,217	28,725
その他の包括利益累計額合計	705,798	971,907
新株予約権	11,283	10,727
非支配株主持分	99,909	102,421
純資産合計	6,019,599	6,266,813
負債純資産合計	6,981,706	7,391,043

（２）中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書

中間連結損益計算書

（単位：千円）

	前中間連結会計期間 （自　2025年４月１日 至　2025年９月30日）	当中間連結会計期間 （自　2026年４月１日 至　2026年９月30日）
売上高	1,890,892	1,891,888
売上原価	1,012,878	1,061,799
売上総利益	878,014	830,089
販売費及び一般管理費	701,132	730,782
営業利益	176,881	99,306
営業外収益		
受取利息	1,501	2,563
受取配当金	12,040	17,360
投資事業組合運用益	3,621	－
その他	821	1,343
営業外収益合計	17,985	21,266
営業外費用		
支払利息	1,792	2,286
支払手数料	2,244	7,830
貸倒引当金繰入額	3,500	－
その他	1,662	5,985
営業外費用合計	9,200	16,102
経常利益	185,666	104,470
特別利益		
投資有価証券売却益	9,435	9,910
その他	－	1,446
特別利益合計	9,435	11,357
特別損失		
固定資産除却損	16	9,572
投資有価証券売却損	5,112	－
特別損失合計	5,129	9,572
税金等調整前中間純利益	189,973	106,255
法人税、住民税及び事業税	37,171	40,577
法人税等調整額	23,485	△3,063
法人税等合計	60,656	37,513
中間純利益	129,317	68,741
非支配株主に帰属する中間純利益	1,419	2,448
親会社株主に帰属する中間純利益	127,897	66,293

中間連結包括利益計算書

（単位：千円）

	前中間連結会計期間 （自　2025年４月１日 至　2025年９月30日）	当中間連結会計期間 （自　2026年４月１日 至　2026年９月30日）
中間純利益	129,317	68,741
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	74,352	265,504
為替換算調整勘定	65	668
その他の包括利益合計	74,417	266,173
中間包括利益	203,734	334,914
（内訳）		
親会社株主に係る中間包括利益	202,353	332,402
非支配株主に係る中間包括利益	1,381	2,511

（３）中間連結財務諸表に関する注記事項

（当中間連結会計期間における連結範囲の重要な変更）

当中間連結会計期間において、当社の連結子会社であるリスモン・マッスル・データ株式会社と連結子会社（当社の孫会社）である日本アウトソース株式会社は、日本アウトソース株式会社を存続会社として吸収合併いたしました。これにより、消滅会社であるリスモン・マッスル・データ株式会社を当社の連結範囲から除外しております。また、存続会社である日本アウトソース株式会社の商号を「リスモン・マッスル・データ株式会社」に変更いたしました。

（中間連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記）

※　現金及び現金同等物の中間期末残高と中間連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係は次のとおりであります。

	前中間連結会計期間 （自　2025年４月１日 至　2025年９月30日）	当中間連結会計期間 （自　2026年４月１日 至　2026年９月30日）
現金及び預金勘定	1,810,234千円	1,603,998千円
預入期間が３ヶ月を超える定期預金	△100,000	△100,000
現金及び現金同等物	1,710,234	1,503,998

（セグメント情報等の注記）

【セグメント情報】

Ⅰ　前中間連結会計期間（自　2025年４月１日　至　2025年９月30日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

（単位：千円）

	報告セグメント					その他（注）１	合計	調整額（注）２	中間連結損益計算書計上額（注）３
	法人会員向けビジネス			ＢＰＯサービス	計				
	与信管理サービス	ビジネスポータルサイト（グループウェアサービス等）	教育関連						
売上高									
ＡＳＰ・クラウドサービス	787,969	293,735	－	－	1,081,705	－	1,081,705	－	1,081,705
コンサルティングサービス	194,853	－	－	－	194,853	－	194,853	－	194,853
その他	－	16,510	89,983	426,280	532,774	81,559	614,333	－	614,333
顧客との契約から生じる収益	982,823	310,246	89,983	426,280	1,809,333	81,559	1,890,892	－	1,890,892
外部顧客への売上高	982,823	310,246	89,983	426,280	1,809,333	81,559	1,890,892	－	1,890,892
セグメント間の内部売上高又は振替高	1,227	1,884	2,848	82,314	88,274	98,809	187,083	△187,083	－
計	984,051	312,130	92,831	508,594	1,897,608	180,368	2,077,976	△187,083	1,890,892
セグメント利益	172,786	92,995	4,380	11,811	281,974	5,295	287,269	△110,387	176,881

（注）１．「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、当社グループの海外展開（中国）を事業とする利墨（上海）商務信息咨詢有限公司（リスクモンスターチャイナ）を含んでおります。

２．セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去及び報告セグメントに配分していない全社費用であり、全社費用は報告セグメントに帰属しない本社の一般管理費であります。

３．セグメント利益は、中間連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

Ⅱ　当中間連結会計期間（自　2026年４月１日　至　2026年９月30日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

（単位：千円）

	報告セグメント					その他（注）１	合計	調整額（注）２	中間連結損益計算書計上額（注）３
	法人会員向けビジネス								
	与信管理サービス	ビジネスポータルサイト（グループウェアサービス等）	教育関連	ＢＰＯサービス	計				
売上高									
ＡＳＰ・クラウドサービス	777,728	304,417	－	－	1,082,146	－	1,082,146	－	1,082,146
コンサルティングサービス	225,846	－	－	－	225,846	－	225,846	－	225,846
その他	－	14,670	86,239	382,967	483,877	100,018	583,895	－	583,895
顧客との契約から生じる収益	1,003,575	319,088	86,239	382,967	1,791,870	100,018	1,891,888	－	1,891,888
外部顧客への売上高	1,003,575	319,088	86,239	382,967	1,791,870	100,018	1,891,888	－	1,891,888
セグメント間の内部売上高又は振替高	2,881	1,983	2,798	76,872	84,535	97,787	182,322	△182,322	－
計	1,006,456	321,071	89,037	459,839	1,876,405	197,805	2,074,211	△182,322	1,891,888
セグメント利益又は損失（△）	115,886	102,683	297	△26,680	192,186	5,483	197,670	△98,363	99,306

（注）１．「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、当社グループの海外展開（中国）を事業とする利墨（上海）商務信息咨詢有限公司（リスクモンスターチャイナ）を含んでおります。

２．セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去及び報告セグメントに配分していない全社費用であり、全社費用は報告セグメントに帰属しない本社の一般管理費であります。

３．セグメント利益又は損失（△）は、中間連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

３．補足情報

要約連結キャッシュ・フロー

（単位：千円）

	前中間連結会計期間 （自　2025年４月１日 至　2025年９月30日）	当中間連結会計期間 （自　2026年４月１日 至　2026年９月30日）
営業活動によるキャッシュ・フロー　※１	1,141,750	489,497
投資活動によるキャッシュ・フロー　※２	△324,313	△472,587
財務活動によるキャッシュ・フロー　※３	△231,873	△160,640
現金及び現金同等物に係る換算差額	△1,065	△957
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	584,497	△144,687
現金及び現金同等物の期首残高	1,125,736	1,648,686
現金及び現金同等物の中間期末残高	1,710,234	1,503,998

前中間連結会計期間 （自　2025年４月１日 至　2025年９月30日）			当中間連結会計期間 （自　2026年４月１日 至　2026年９月30日）	
主要な費目及び金額は次のとおりであります。			主要な費目及び金額は次のとおりであります。	
※１	税金等調整前中間純利益	189,973	※１　税金等調整前中間純利益	106,255
	減価償却費	352,905	減価償却費	422,996
	売上債権の増加額	△72,623	法人税等の支払額	△44,495
	供託金の返還による収入	740,000	※２　無形固定資産の取得による支出	△484,082
	訴訟関連損失の支払額	△109,128	定期預金の払戻による収入	100,000
	法人税等の支払額	△32,377	定期預金の預入による支出	△100,000
	法人税等の還付額	31,904	投資有価証券の売却による収入	107,897
※２	無形固定資産の取得による支出	△454,071	投資有価証券の取得による支出	△99,804
	定期預金の払戻による収入	100,000	※３　配当金の支払額	△119,245
	定期預金の預入による支出	△100,000	自己株式の取得による支出	△37,793
	投資有価証券の売却による収入	125,434		
※３	配当金の支払額	△112,026		
	短期借入金の返済による支出	△116,700		